

名古屋大学高野ゼミ
中野方町「農泊体験」アンケート調査
結果報告書

平成30年11月12日

中野方農泊推進協議会

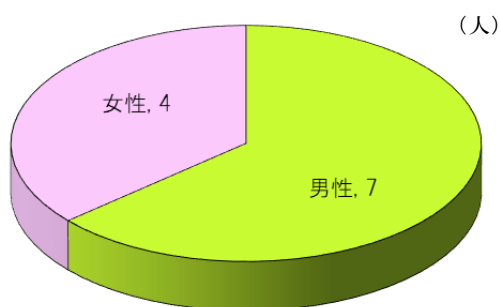
I. 調査実施要領

1. 調査対象 平成30年10月27日(土)～28日(日)に実施した「農泊体験ツアー」参加者
※参加者は、名古屋大学学生と名古屋大学附属高校の生徒
※大学生は、名古屋大学高野雅夫准教授のゼミ所属生
2. 調査方法 体験終了後、参加者による自記式回答
3. 調査数 11

II. 調査対象者の属性

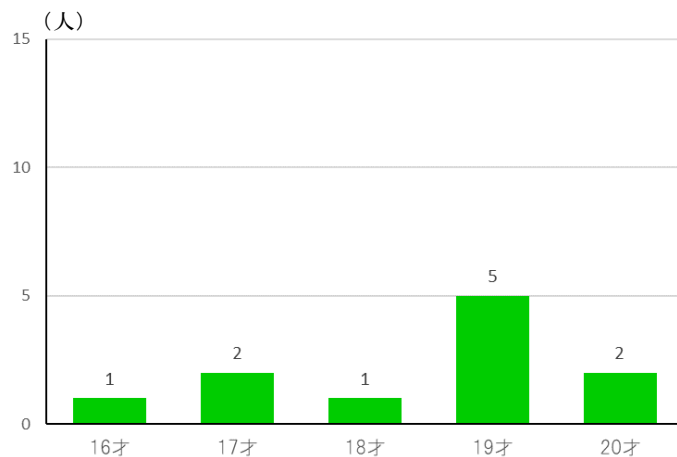
1. 性別 N=11

- 男性7名、女性4名



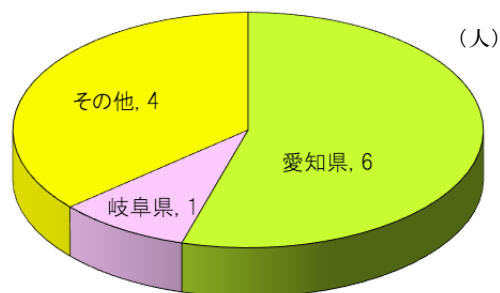
2. 年齢 N=11

- 16才～20才まで。16才と17才は高校生



3. 出身地 N=11

- 半数が愛知県内



※「その他」: 福島県、富山県、石川県、広島県(各1)

【高野雅夫教授プロフィール】

名古屋大学大学院環境学研究科地球環境科学専攻・教授
1962年山口県生まれ。名古屋大学理学博士(地球科学)

<研究テーマ>

1. 自立した持続可能な中山間地域のデザイン
・人口や森林の将来シミュレーションを基に、将来のエネルギー需給や地域経済の姿を描く
2. 千年持続型科学技術開発
・らせん水車を用いたマイクロ水力発電技術の開発
・有機肥料の養液栽培技術の開発
・伝導型地中熱利用住宅の開発

<担当講義>

1. 資源・エネルギーの環境学(環境学研究科)
2. 持続可能な地域づくり実践セミナー(環境学研究科)
3. 地球環境学(理学部地球惑星科学科)



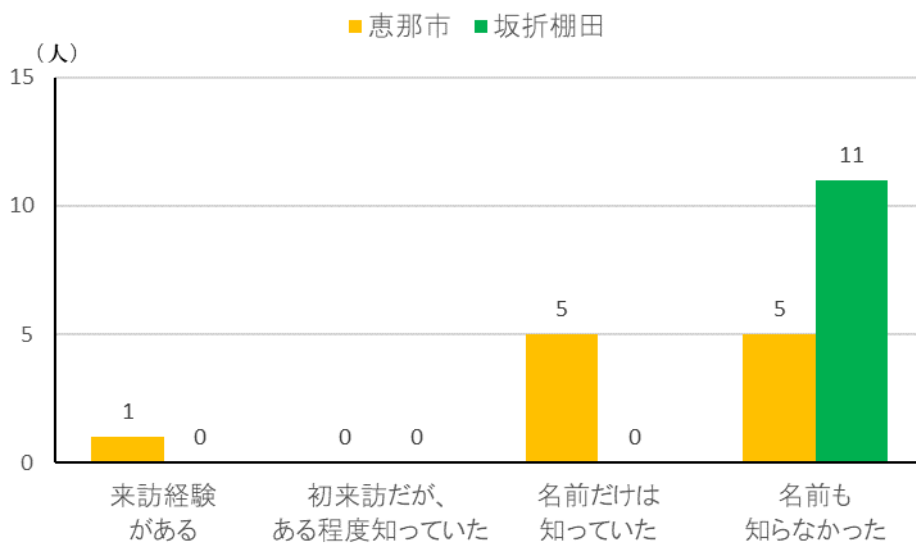
【旅程】

月	日	曜	TIME	旅程	受入体制等チェック事項
1 目 目	27	土	10:24	JR名古屋駅発	
			11:27	JR恵那駅着	
			12:15	恵那駅から自主運行バス 中野方方面 馬越行き	
			12:57	中野方振興事務所着	
			13:15	開校式 1.代表者挨拶 鈴木今衛 2.2日間の体験、宿泊先の確認 3.作業ができる着替え	
			13:45	中野方振興事務所発	
			14:00	水源の森 林道口	
			14:15	●森づくり体験 水源の森作業現場へ移動 ○準備体操 ○森林整備の説明、「なぜ間伐をするのか」 ○作業を体験してみよう 伐倒の実見学と枝払いなどの作業を体験	●雨天時 ①中野方の森づくりについて 鈴木今衛 ②薪割り体験 鈴木 猛さん現場で ※適度に休憩しながら薪割り実体験 ※木の駅の説明 今回増刷したパンフ配布
			16:35	水源の森 林道口出発	終了後コミセンへ
			16:45	なごみの家着 宿主さん出迎え 各農家民宿へ	
2 目 目	21	日	17:00	各農家民宿にて 民泊体験 夕食+各ご家族と交流	
			7:00	朝食	
			8:15	各農家民宿発	
			8:30	なごみの家集合 ●農業体験 NPO法人恵那市坂折棚田保存会 ○棚田の紹介と作業の説明、準備体操 ○LED灯設置作業 ○石積みの実見学	
			11:30	作業完了 なごみの家でおにぎり弁当昼食・総括会	※アンケート渡し ◎おにぎり定食とお茶 ※お茶番処でモリ券を使って買い物。
			12:40	閉講式	
			12:50	なごみの家から振興事務所へ	
			13:00	振興事務所着	
			13:15	振興事務所前で自主運行バス乗車 JR恵那駅行	
			13:50	恵那駅到着	
			14:31	JR中央本線 恵那駅発	
			15:35	JR中央本線 名古屋駅着	

Ⅲ.調査結果

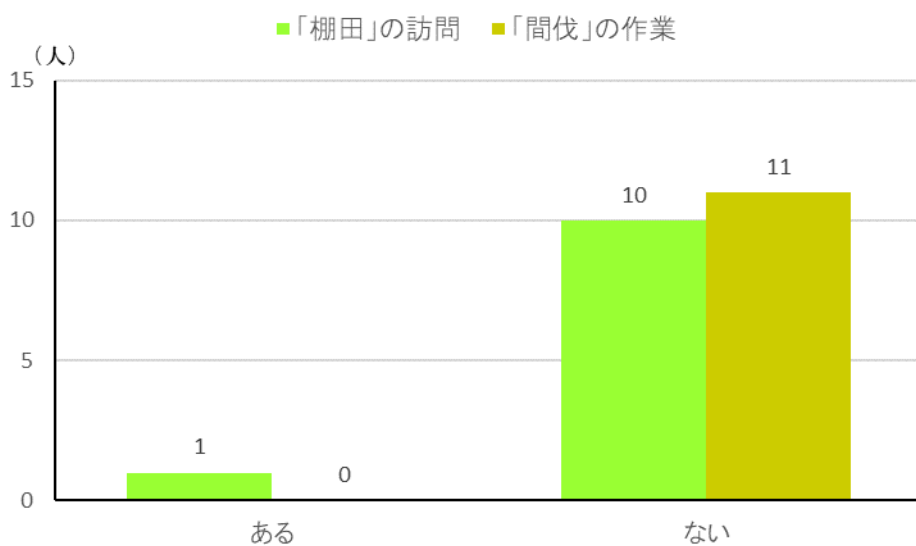
1. ツアー申込前の当地の認知度 各N=11

➤ 11名のうち6名が「恵那市」を知っていたが、来訪経験者は1名のみ。「坂折棚田」の認知者はいなかった



2. 農山村での体験 各N=11

➤ 「棚田」の訪問経験者が1名いたが、出身県内でのこと(富山県氷見市)。「間伐」作業の経験者はいなかった



[開講式]

3.「自主運行バス」の感想および意見と提案（自由回答）

- 運行の必要性や意義を否定するものはいない。ドライバーの対応も好印象の大きな要因となっている
- 一方で採算性や運行効率には懸念も。乗客数とバスの大きさのアンバランス(大きすぎる)の指摘が目立ち、「予約制」の提案もある

お札で料金が払えるのがすごく良いと思った。乗っている地元の人が少ないのが、ちょっと淋しかった
(乗客の)おばあちゃんと運転手さんの会話が、ほのぼのしていて良かった。料金があらかじめ分ると良かった
運転手さんが、(日頃)よく利用する方と楽しく話していて、雰囲気が良かった
運転手さんが優しくて、感じが良かった
運転手さんと乗客の「距離」が近くて良いと思った
(普段の利用)客数は少ないと思うが、需要はあると思うので続けてほしい。特に学生などの車を持たない人は、このバスがないと中野方に来ることすらできない
乗客数の割にバスが大きい。もう少し小さいバスで良いと思う
(座席から)バスの掃除用具が見えるのが残念だった
バスはもっと小さくても良いのでは?と思った
予約制にした方が無駄がなくて良いと思う。運転手がフレンドリーな感じで良いと思った
利用者が少ないので、コミュニティバスの(ような小型)サイズで運行すればコストが削減できる



[バスで到着]



[帰路もバスで]

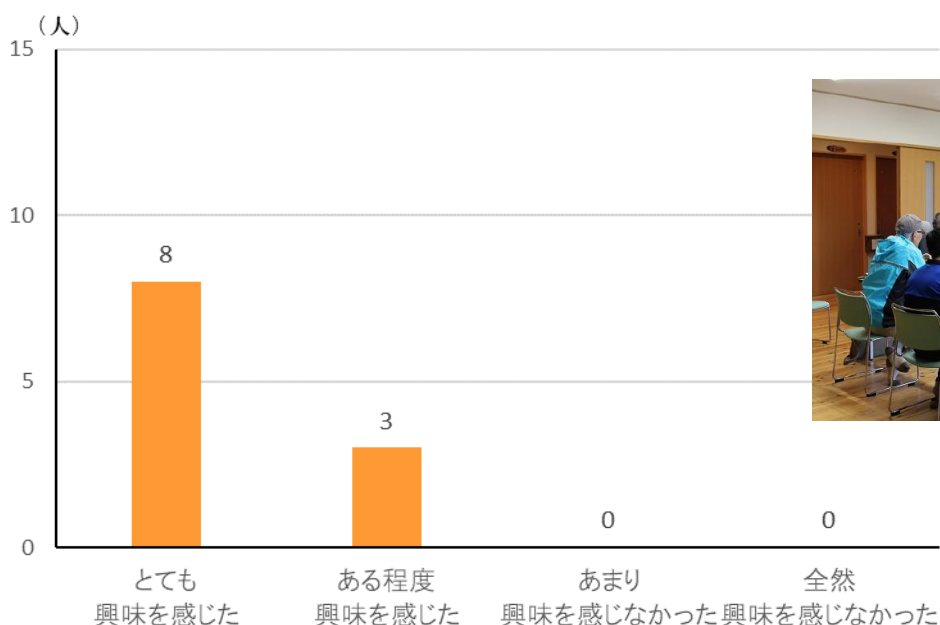
4.「森づくり」体験

- 体験前に間伐の必要性や効能を理解していた参加者はいなかった
- また、参加者が伐採を単純な作業と予想していたことも明らか。倒木の方向や切れ込みの入れ方など、知識や技術が必要な作業であることに一様に驚いている。肉体的負担と危険を伴う作業であることにもついて同様
- 参加した11名全員がこの体験に興味を感じており、うち8名は「とても興味を感じた」としている
- 自らが「無知」だったことを自覚し、森や林業についてのより積極的な啓蒙が必要と指摘している。また、今回の「体験」は講義と見学が中心だったが、参加者が関われる「作業」を組み込んでほしいとの意見もある。伐採した木の分割や運搬、トラックへの積み込み作業などが提案されている

①体験を通じて得た「学び」や「発見」（自由回答）

あんなに大きな木を切り倒すのを見るの初めてで興奮した。ただ切り倒すのではなく、切れ込みの入れ方や倒す方向を考えるなど、多くの工夫がされていることが分って面白かった
一本の木を切るためにすごく力がいることを学んだ。間伐をしなければならないことを知った
間伐がどのように行われているのか、初めて知った。木の値段が下がり、林業や農業だけでは生活が苦しいということも初めて知った。林業や農業で生活できるあり方を探し、見つけ出したいと思った
間伐の重要性が分った。木を倒す方向（など色々こと）を考えて行うことは、大変だが重要だと思った
間伐をすると山の中が明るくなり草も育っていくことが目で確かめられた。杉や檜が人の手で植えられた（という）過去が意外だった
木が倒れたときの音の大きさに驚いた。木が倒れるときの様子を実際に見て、林業は危険を伴うし、体力もいる大変な作業だと感じた。説明を聞いて、間伐の大切さを学んだ
木を1本切るだけでも大変なのに、3本に1本を間伐する目標だと聞いて驚いた。寒い時期にこういう作業をするのは骨が折れるだろうと思った
木を切るだけだけど、安全のための手順がたくさんあり、とても大変なことだと思った
木を切るだけで、そんなに大変じゃないと思っていたけど、木が倒れるときの「ドーン」という音を聞いて、危険だ、ちゃんとやらなきゃいけないと思った
木を切るときに、倒す方向をしっかりと計算していたし、そのための準備や道具がたくさんいることを初めて知った
木を倒す方向をコントロールするための切り方があると分った。間伐をする目的も理解できた

②体験の興味喚起度 N=11



[森づくり講座]

③「森づくり体験」プログラム改善のための提案（自由回答）

カメラが趣味の人のためのプログラムを組めば、写真も撮れるし、森作り体験もできて参加者が増えるのでは
間伐の目的、必要性をアピールする
木を切るのは危険だから（自分は）やれないと思うけど、切った木を運ぶとかならやっても良いと思った。見ているだけでも面白いけど、何か自分でする体験をしたかった
（林業に）興味のある若者も多いと思うので、もっと宣伝を増やすと良い。大学などにポスターを貼ったり、スマホから体験の申込みをできるようにしたりなど
先に間伐の目的や詳しい手順などを教えられてから山に入ると、参加者もどの木を間伐すべきか、どの方向に倒すべきかなど能動的に考えられるのではないかな
長靴の貸出しをすれば良いと思う
名古屋から1～2時間程度で、こんなに自然豊かな所に来られると知っている人は少ないと思う。電車1本で行けるという恵那の近さをアピールするとともに、少ない手荷物で楽しめるような体験プランや農泊の提案をすることで、「行ってみよう！！」と現実的に考えやすくなると思う
日本の森の危機をもっと（広く）知らせる必要があると思う。（森が荒廃すると）土砂災害が起こりやすくなるということを私は知らなかった。「モリ券」のアイデアは素晴らしいと思った
もう少し森づくり体験をしたかった。木を2本（に）切るとか、他の作業をするなど
もっと木に触れる時間がほしかった。例えば短く切った木を軽トラに積むなどするのはどうか
林業に対して「面白い」と思ってもらえるように、可能な範囲で体験できる作業を増やすと良い



〔作業前の説明を受ける〕



〔鈴木指導リーダー〕



〔女性指導員〕



〔伐採を見守る〕



〔指導員と話す〕



〔引き倒しを手伝う〕

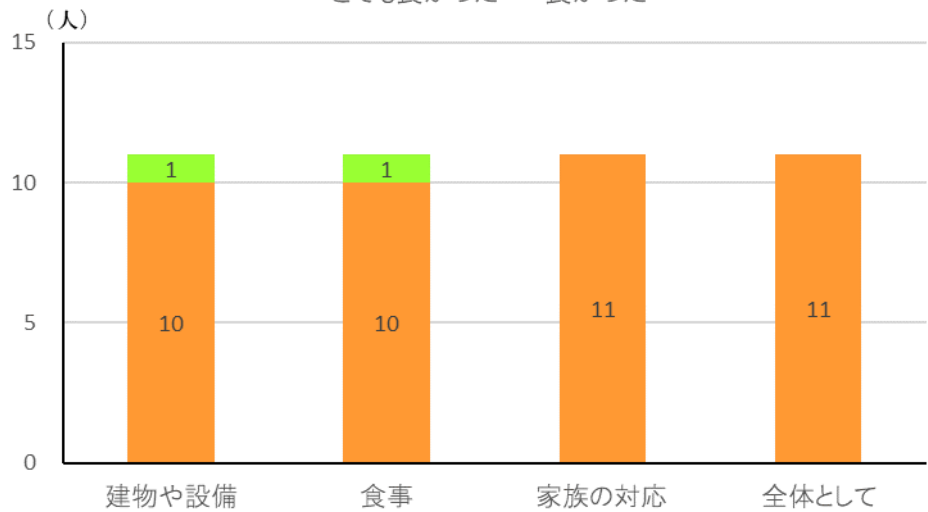
5.「農家民宿」体験

- 体験は高い評価を得ている。参加者にとって、極めて新鮮で発見の多い体験だったことが明らか。宿泊先農家の建物・設備、また食事や対応に不満を持った者はいない。中でも、地元の食材と調理法による“農家ならではの”食事のインパクトが大きかったようだ
- ただし、単に“泊まる”だけでなく、より能動的な、また“農家ならではの”体験をしたかったとの意見もある。干し柿にするための柿の皮剥き作業と庭での魚焼きを行った農家もあり、それだけで強い印象を与えている

①体験を通じて得た「学び」や「発見」（自由回答）

彩り豊かな晩ご飯を見て、コンビニで弁当で済ますという食生活を見直そうと思った
大家族でいいなと思った。朝起きたときに窓の景色を見たらとてもきれいで、いいなあ、住みたいなあ感じた
(宿泊時に)食べた食材は、とてもおいしい上に持ちも良いということ。落花生の食べ方。(農家でやっているように?)色々な経験をした方が良いということ
食べ物の本当のおいしさが分った。(食べるものを?)自分で一から作る素晴らしさも感じた
農家の方が昔から受け継いできた知識が今の生活にも活かされていること。柿の皮の活用は、考えたこともなかった
農家の方がどのような暮らしをしているかが分ったし、自分の人生においてとてもためになる話してもらった
干し柿作りの手伝いや外で魚を焼いたり、普段はできない体験がたくさんできた。宿泊先の方と一緒に農家らしいことができるのが一番楽しい
干し柿作りを体験したが、思った以上の重労働に驚いた。食事中に農家の方とお話ができて、家族の一員になったような気がしてうれしかった
ほとんどが自家製の食材を使った料理で、普段食べているものとは味や菌ごたえが違うと感じた
野菜や味噌など、たくさんのものを手作りして使っていることに驚いた。毎朝、棚田の美しい景色が見られるのをうらやましく思った。柿(の皮?)剥きという作業があって、ホストの方と話しやすくなって良かった
食べたことのない食材や、(日頃は)あまり食べない「和食」を味わうことができて良かった。すごくおいしくて、農家で育てたものを食べる良さを感じた

②体験の評価 各N=11



<宿泊先別内訳>

		とても良かった	良かった	あまり良くなかった	全然良くなかった	(人)
建物や設備	銀木屋	4				
	農家民宿こうや	2	1			
	ふうちゃん	4				
食事	銀木屋	3	1			
	農家民宿こうや	3				
	ふうちゃん	4				
家族の対応	銀木屋	4				
	農家民宿こうや	4				
	ふうちゃん	4				
全体として	銀木屋	4				
	農家民宿こうや	4				
	ふうちゃん	4				

* 宿泊者数: 銀木屋=男性4、農家民宿こうや=男性1/女性2、ふうちゃん=男性2/女性2

③「農家民宿」体験プログラム改善のための提案（自由回答）

宣伝ポスターなどに、ホストの方の人柄や趣味など、簡単な自己紹介があると参加しやすいかもしれない。景色の美しさやご飯のおいしさも伝えることで、来たくと思う
都市にはない閑静さや交流があること、日々の疲れが癒やされることをアピールする
農家としての体験ができると、その一員になれたような気がしてうれしいので、楽しいお手伝いを用意してほしい
農家民宿はとてもすばらしいので、（来訪する）きっかけを作ると良いと思う。私たちのように授業の一環として来る学生をターゲットにするのが良いかも知れない
ヒマだなあと思う時間が結構あった。民宿で（も）何か体験できると良いと思った
ペットがいる農家にはアレルギーのない人のみを対象にするなど、もう少し細やかなケアが必要かと思った。（宿泊者に）もっと家事の手伝いなどをしてもらっても良いと思った
「また泊まりたい」と思えるくらい、優しく接してもらえ、自分の家ではないかと錯覚するほどだった。今後も続けてほしい
もう少し、農家ならではの、この地域ならではのこのことの手伝いなどを体験したかった
もっと家庭内での（宿泊先家族との？）交流ができれば良いと思う。家事や力仕事などの手伝いを通じて、宿泊先の方との距離を縮め、もっとコミュニケーションがとれたら良かった
もっと広告をすれば、もっと人は来ると思う
夜、星が見えるということを積極的にアピールする



〔夕食〕

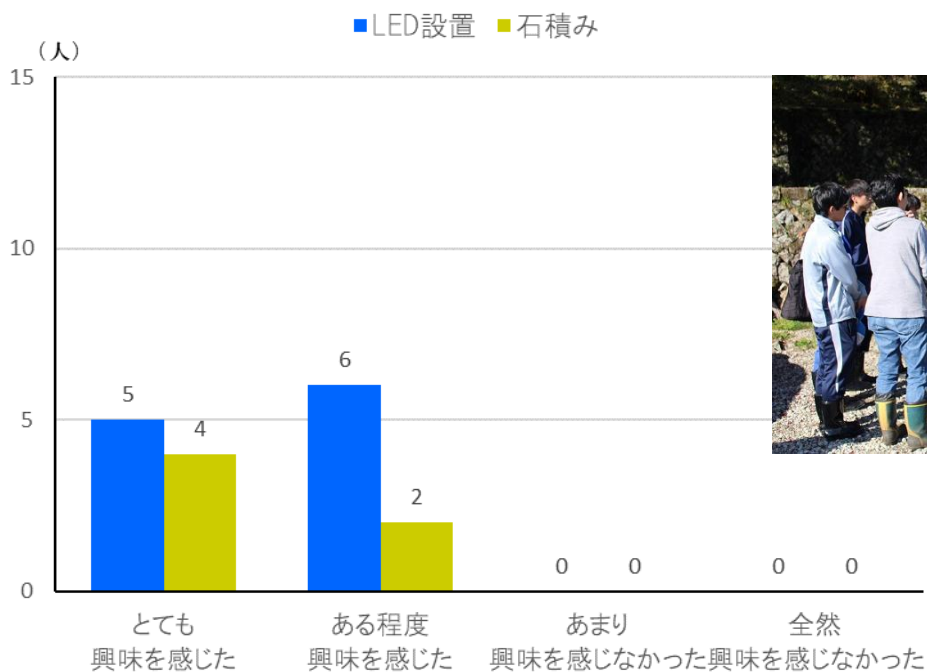
6.「坂折棚田」体験

- 到着時の第一印象は、やはり景観の美しさ
- LED灯設置と石積み体験のどちらにも全員が興味を感じているが、石積みの方がより強い印象を与えていることが明らか。石積みの高い技術、それがもたらす堅牢さ、また維持のための多大な労力への驚きが記述されている。LED灯の設置も否定されるわけではないが、「『ザ・農村』な作業の方が魅力的」との意見もある
- 「棚田」についても、「森作り体験」と同様に、より積極的な啓蒙が必要と指摘されている

①到着時の第一印象（自由回答）

一面に広がる棚田に圧倒されると同時に、きれいだと感じた
美しい。収穫前に来たかった
美しいと思ったと同時に、田植えや稲刈りが大変そうだった
思ったより一つ一つの田んぼが小さくて、機械が入るのかなあと思った。山と棚田の風景がとてもきれい！！
きれい
きれいだと思った
（以前から）ずっと棚田を見てみたいと思っていたので、うれしく、美しさを感じた
とてもきれいで、美しいと思った
とてもきれいな景色だと思った
初めて見る棚田の壮大さに驚いた

②体験の評価 LED:N=11, 石積み:N=6



〔棚田保全の意義を教わる〕

③体験を通じて得た「学び」や「発見」（自由回答）

生き物や自然と触れ合えて、草の中に腰を下ろすことの楽しさが分った
石積みには、先人たちの長年の知恵と経験が詰まっていることが分った
石積みにも色々な方法があり、（積み方次第で）とても丈夫になることを初めて知ることができた
LED灯の設置という単純な作業でも、工夫すれば作業効率は上がるということ
作業の楽しさ、大変さ
ただ石を積み上げるのではなく、緻密に考えて組まれていると分った。しっかりと積んだ石は、コンクリートとほとんど同じ強度だと知って驚いた
棚田には人が自由に歩ける場所が少ないこと、田んぼから田んぼへの移動や機械の導入（搬入？）が大変なことが分った。（棚田の）手入れにも手間暇がかかることも分った
棚田の中はとても歩きづらく、足腰が鍛えられると思った。だからこそ、高齢になっても元気に仕事ができるのかと考えた
棚田を観光資源にしようと、多くの工夫がなされていると分った。石積みも、とても大変そうだった
80才を超えるおじいちゃんが今日（自分たちが）やったような作業をやっているのだと思うと、尊敬の気持ちが湧いた。石はとても重く、農業の大変さを感じたが、楽しかった
（石積みは）若者が大人数でやってもそこそこの時間が掛かるのだから、とても大変なんだろうと思った。この面積を手作業で耕したり、稲を植えたりするのは本当に大変だろうとも思った

④「坂折棚田」体験プログラム改善のための提案（自由回答）

LEDが点灯した写真を見せて、「これを作ります」といったアピールをすると、人が集まりやすいと思う
LEDが点灯したところを見てみたかった。草抜きをやっても良かった
LEDが点灯している棚田の写真を広告に使うと良い
LED設置よりは収穫や耕作など、「ザ・農村」な感じの作業の方が魅力的に思え、やりたい、やってみたいと思う
棚田オーナーの活動を（もっと）PRすること。作業は大変だが、新鮮で面白い体験になるし、棚田の米のおいしさを知ってもらい機会にもなる
棚田という先人の知恵、観光資源が失われつつあることを教える（アピールする）
棚田について知らない人が多いと思う。まずは存在を知ってほしい
棚田の美しさを伝えるプログラムをもっと増やす
棚田の重要性や美しさをもっと伝える必要があると思う。それを知ることで（保全）活動に参加したくなる。写真を撮って、絵はがきにしてみるのも良いかもしれない
棚田の中で泥にはまって動けなくなり、長靴が脱げたりした。こういった時のサポートをしてもらえるとありがたいと思った
棚田の枚数や、管理にどれだけ手間が掛かるを、しっかり伝えるべきだと思う



〔LED灯の設置準備〕



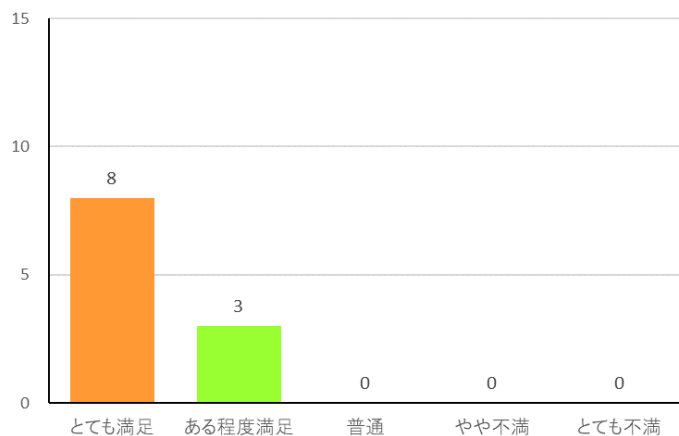
〔石積みの意義と技術を教わる〕

7.「おにぎり定食」

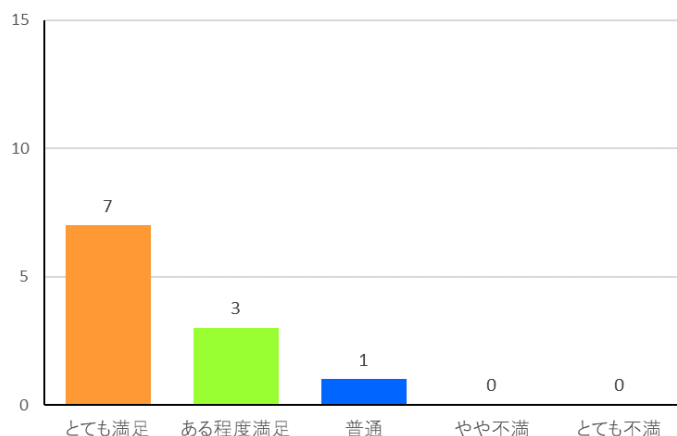
- 料理内容の評価は高いが、ボリュームと価格についてはマイナス評価もある。ボリュームについては「農作業の後だと物足りない」との記述も見られる。価格については、ほぼ半数が「やや高い」としている
- “ラップ”と割箸の使用の再考を促す意見もある

①評価 各N=11

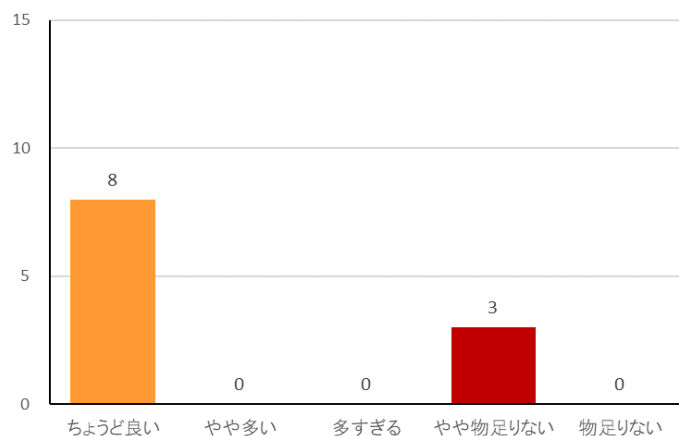
1) 味 (おいしさ)



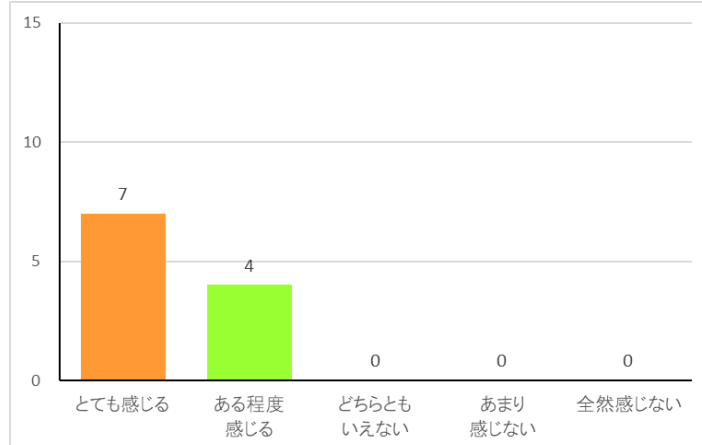
2) 見ばえ (おいそう)



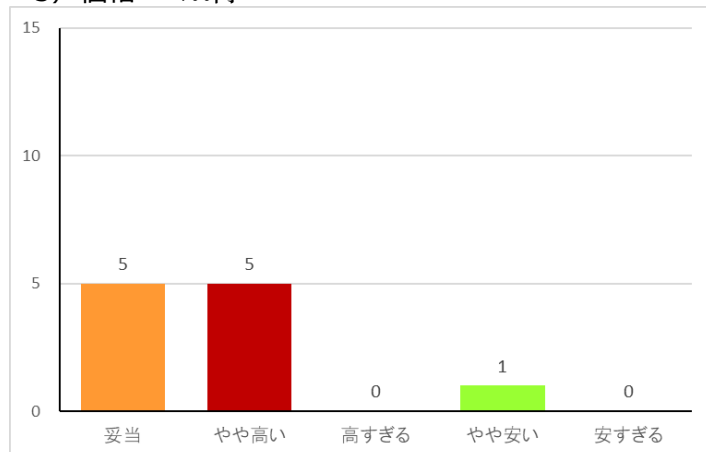
3) ボリューム



4) 当地らしさ



5) 価格 *700円



②「おにぎり定食」改善のための提案（自由回答）

熱々のおにぎりが食べたい。味噌汁はとてもおいしかった

おいすぎて、（改善点は）特にないです！

お米が少し硬かった。もう少し柔らかくすると良い

「おにぎりは海苔派」という人もいる。海苔で巻いたものもあると良いかも

おにぎりはラップに包まなくて良いと思う。割箸ではなく、何度も使える箸の方が、より有難味が出ると思う

地元の米や野菜を使っているところがとても良いと思った。おにぎりの具を選べると、嫌いなもののある人にとっても良いのではないか

春菊に色を足せば、もっと見ばえが良くなる。おにぎりのラップに水滴が付いていたのが残念

たくあんを食べたい

とてもおいしいので、もう少し量を増やしてほしい

農作業の後だと少し物足りない感じがした。価格をもう少し上げても、量を増やしてほしい



〔昼食（おにぎり定食）を食べながら総括会〕

8. 坂折地区の魅力拡大のための意見と提案（自由回答）

- 広報の強化、住民との交流機会や体験プログラムの多様化、大学生のターゲット化などが提案されている
- 地区内での移動手段の考慮が必要、当地はツーリング(バイク)の適地等の意見もある

キウイなどを活かした、「〇〇狩り」は良い体験になる
(初めて来る人のために、その時期の?) 気温が分る手段があると良い
広報の強化
住民の方とフレンドリーに触れ合う機会がたくさんあると、リピーターも増えると思う
大学生をターゲットにしたPRをすると、多少は来訪が見込めると思う。この美しい景観を大切にしていけることが一番だと思う
たくさんの、様々な体験ができると来たいと思う人が増えると思う。景色や空気はすごく良かったので、このままの坂折を守ってください
多少きつくても、日頃農家の方が実際にやっている作業をすることで、農林業で汗をかいて作業する楽しさや達成感を味わってもらえると思う
地区内での移動手段がないので、この点の改善をすると良い
ツーリングにもってこいの場所だとアピールする
展望台をもっとアピールして、写真が撮れ、星が見られ、棚田が見えるといった、カメラ好きの人たちが引きつけられる場所にしたら良いと思う



〔<モリ券>で買い物〕



〔キノコ採り〕



〔高野雅夫名古屋大学教授〕